



ホーム 製品 Clore + Bubble



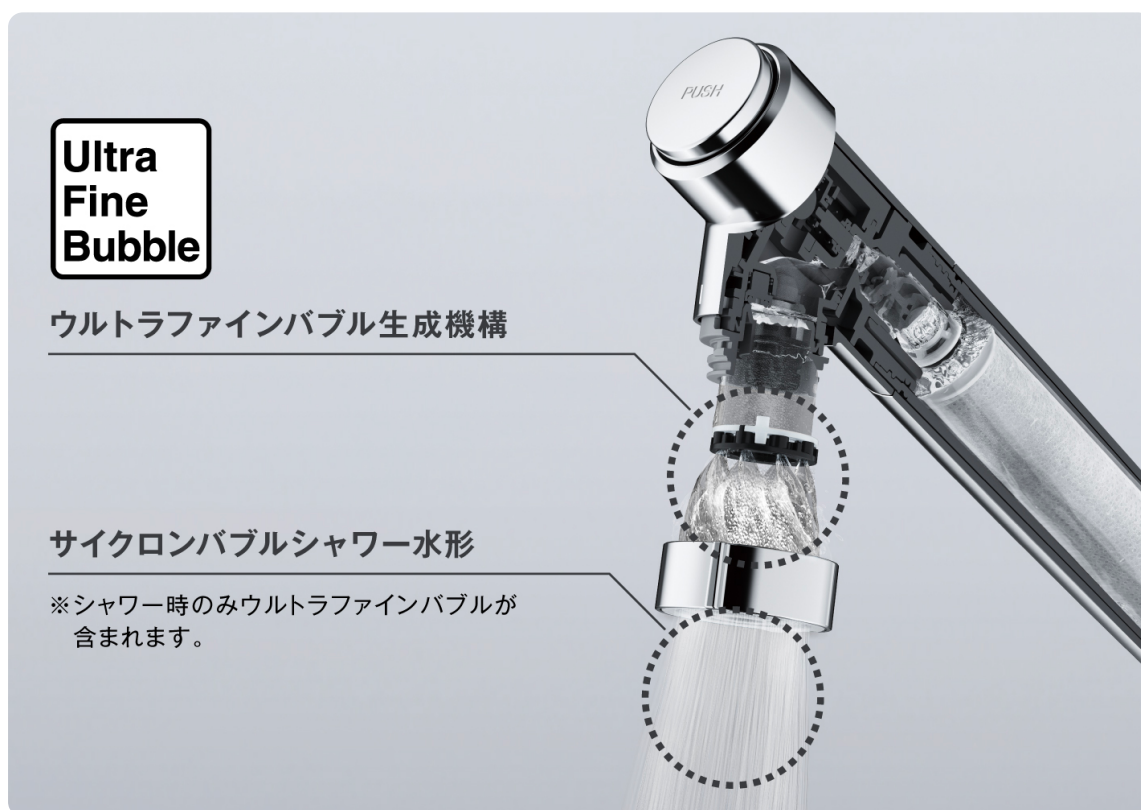
ウルトラファインバブルで、 洗い仕事を「もっと快適」に

ミネラルそのまま、
きれいな水を作る蛇口一体型浄水器
に 話題のウルトラファインバブル搭載のモデル！！



特徴

洗浄力が高い理由は……！



UFB生成機構により1mlあたり約900万個の
ウルトラファインバブルを生成。^{※1}



洗浄力2.5倍^{※2}で 洗い仕事をサポート



サイクロンバブルシャワー水形は径が細かく
勢いが強いため、スポンジなどでは落としにくい
油汚れも洗い流す。

水ハネが約47.6%低減^{※3}



水ハネが少ないからシンクまわりの拭きとり掃除が楽に。キッチンリセットの時短が期待できる。

ウルトラファインバブル×
浄水で料理をもっとおいしく



ウルトラファインバブルで出汁の抽出力UP。

◎昆布のうま味成分が約1.7倍(約69%UP)。※4

機能

浄水/原水の切り替えが



浄水器部先端のプッシュボタンを押すだけ。
簡単に浄水/原水の切り替え。

料理の下ごしらえに便利な
浄水シャワーが使える



原水



浄水



用途に合わせて水形切り替えができる。
ストレートは流量が多く、シャワーはやさしい肌
当たり。

操作性に優れたレバーハンドル

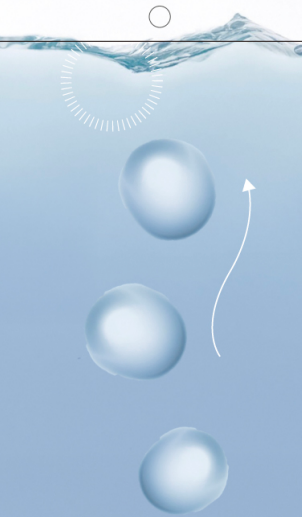


お湯・湯水混合の範囲で吐水操作をすると、
3段階に”カチッ”と動くクリック感があり、意識的に省エネが可能。

※水側にはクリック感はありません。

ウルトラファインバブルとは...

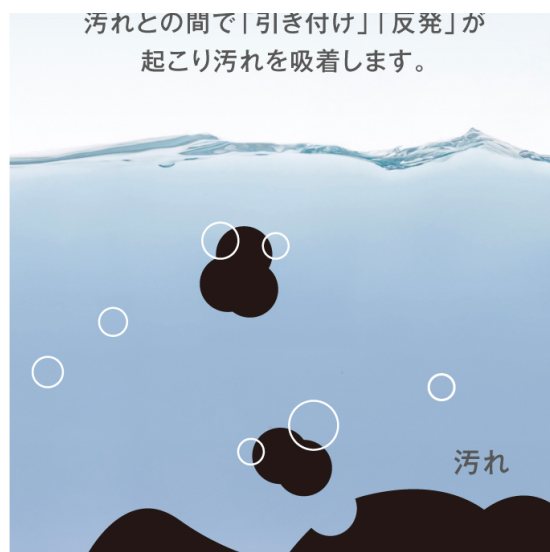
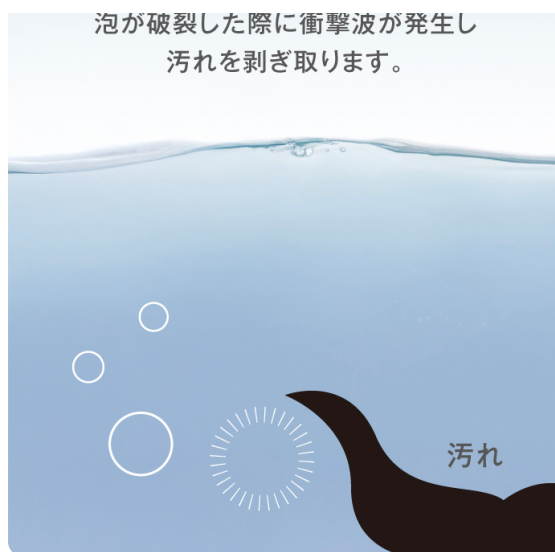


	ファインバブル		ミリバブル サブミリバブル
	ウルトラファインバブル	マイクロバブル	
泡の直径	1 μ m未満	1 μ m～100 μ m未満	100 μ m～
目視	×(無色透明)	○(白濁)	○
性質・特徴	イメージ図 [1 μ m=0.001mm] 		
	水中に長期残存	非常にゆっくりと水中を浮上 溶解が進むと収縮して消滅	発生してすぐに浮上

「ファインバブル」には、泡の大きさにより
「ウルトラファインバブル」と「マイクロバブル」
の2種類があり、図のように区別。

「ファインバブル」、「ウルトラファインバブル」、
「FINE BUBBLE」、「FBIA」ロゴは、
一般社団法人ファインバブル産業会の登録商標です。

有用な性質について



ウルトラファインバブルは大きな気泡にくらべて
有用な性質を持っています。

左) マイクロバブルの作用

右) マイクロバブルとウルトラファインバブル両
作用。

各種エビデンスについて

※1... バブル数量はクローレバブルのシャワー水形で通水する前の原水と、通水して吐水された水の各々で測定した水流1mlあたりのバブル数量の差を算出した結果。数値は超純水



各々水形にて疑似汚れ(染料で着色したマーカリング)を塗布したガラス板を1方向放置後に水流(吐水水量:3.9L/min・吐水温度20℃)を30秒間当てて汚れ落ちの試験をした。クローレバブルと同シリーズ:クローレのシャワー水形でそれぞれ疑似汚れが落ちた面積比率を画像解析ソフト(ImageJ)にて算出し比較した値を結果とした。算出用画像の二値化処理における輝度しきい値は、画像と汚れ範囲が目視で一致するように輝度しきい値を設定し、その輝度しきい値での各々面積を測定し比率を算出。各々その輝度しきい値での汚れ残存面積と除去面積を測定、それから洗浄率を算出し、クローレバブル洗浄率/同シリーズ:クローレ洗浄率=約2.5倍の結果を確認。吐水水量(最適流量):3.9L/minはバルブ工業会の最適流量の節湯基準に基づく。(2024年5月タカギ開発調べ)

※3...クローレバブルのシャワー水形(孔径φ0.3mm×240個)と同シリーズ:クローレのシャワーの水形(孔径φ0.6mm×108個)を使用し、各々水形の通水時(原水/吐水水量:3.9L/min)において、水はね試験治具の測定用アクリル板(記録紙)に30秒間で付着する各々水滴面積と水滴個数を比較。吐水水量(最適流量):3.9L/minはバルブ工業会の最適流量の節湯基準に基づく。(2024年5月タカギ開発調べ)

※4...以下の方法・条件で試験を行い、比較評価した結果。(使用環境や使用条件により結果は変わる場合あり。)【原水】水道水(水温約14℃)【試験水】クローレバブルの浄水シャワーによる吐水(ウルトラファインバブル水)、クローレバブルの浄水ストレートによる吐水(通常水)。【試験方法】室温約22℃の環境下で、200 mL容器に1gにカットした昆布を入れ、流量5 L/minで200 mLを注水。10分後に昆布を取り出し、得られた抽出液を測定試料とし、両水共に10検体の測定試料を準備。【測定方法】両水共に10検体の測定試料を使用して、専用試薬で発色させ、色の濃さをLED比色計で確認してL-グルタミン酸量を測定。【結果算定】(ウルトラファインバブル水のL-グルタミン酸量平均値/通常水のL-グルタミン酸量平均値)を算定し、約1.7倍(約69%UP)の結果を得た。(2026年3月 タカギ調べ)



Clore+Bubble
UFB機能付き

WEBカタログはこちら

無料見積もり



こちらからご確認ください。

ショールーム

タカギ製品・サービスに関する
お問い合わせはこちら

お問い合わせ



製品へ戻る



製品へのこだわり

製品

浄水カートリッジ

ショールーム

FAQ・お問い合わせ

みず工房カスタマークラブ

ご愛用者さまの声



蛇口の保証登録
浄水カートリッジ定期交換申込

WEBカタログはこちら

蛇口無料見積り

(旧マイページ)

法人の方へ

公式アカウント



[ご利用条件](#)

[プライバシーポリシー](#)

[個人情報について](#)

[特定商取引法に基づく表示](#)

[サイトマップ](#)

[TAKAGI GLOBAL](#)

COPYRIGHT © TAKAGI CO.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.